

# ふん火にあつたら、どうしよう？

## ◆火山にのぼっている時に、ふん火したら？

●ふん火しているところから、**反対方向へ急いでにげましょう。**

●ふん石がとんできたら、**急いで近くの小屋に入るか、ヘルメットやリュックで頭をまもり大きな岩や木の後ろにかくれましょう。**



ふん石が落ちてこなくなったら、**急いでもっと遠くへにげましょう。**



火山に行く時には、気象庁の**火山のじょうほうをかくにんし、登山とどけを出しましょう。**

●ひなんする時は、マスクなどで口をおさえ、**火山ばいをすわないようにしましょう。**

●家や学校で、**火山のよい所や、こわい所を話し合っておきましょう。**

◆メモ(話し合ったことを書いておきましょう)



# 火山を知る本



2014年9月27日にふん火したおんたけ山



●作成／岐阜県危機管理部防災課  
●監修／名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究センター  
京都大学防災研究所  
●協力／岐阜県教育委員会

# 「活火山」は、他の火山と 何がちがうの?



◆活火山は、ふん火するかもしれない火山です。  
全國に111、ぎふ県には5つあります。

火山はふん火すると、おそろしい山です。  
しかし、ふだんはわたしたちに温せん、湖、たき  
などのきれいなけしきや、やさいを作りやすい土など、  
いろいろなめぐみをあたえてくれます。



## 1 白山 (はくさん)



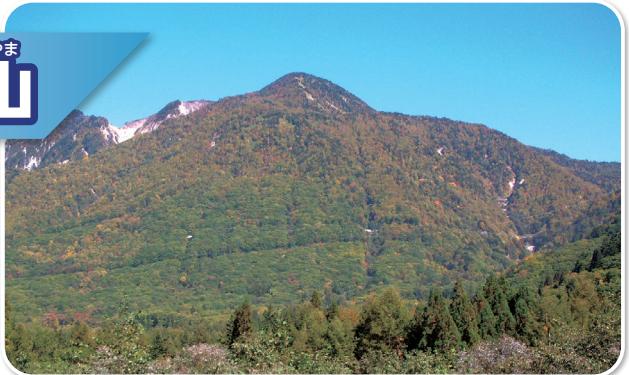
## 2 御嶽山 (おんたけさん)



## 3 燃岳 (やけだけ)



## 4 アカンダナ山



## 5 乗鞍岳 (のりくらだけ)



# 火山は、どうしてできるの？



火山は、マグマとよばれるとけた岩が、地下深くから上しょうする場所にできます。ふん火をして地表に石やすながつもって、山になります。ふん火すると、火口から細かいすなつぶや石をいきおいよくふき出します。すなのよなつぶを「火山ばい」とよびます。また、大きな石を「ふん石」とよびます。

# ふん火すると、 どんなことが起きるの？①



## ● 火山ばい

火口からふき出した火山ばいは、風に流されて広いはんいにふります。火山ばいは虫めがねで見るととがっていることが多く、すいこんだり、目に入らないようにしましょう。



火口からふき飛んだふん石は、火口のまわりにいきおいよく落ちてきます。その速さは、大ほうの玉ほどになります。



有す山<1983年>



# ふん火すると、どんなこと が起きるの?②

## ● 火さい流・火さいサージ

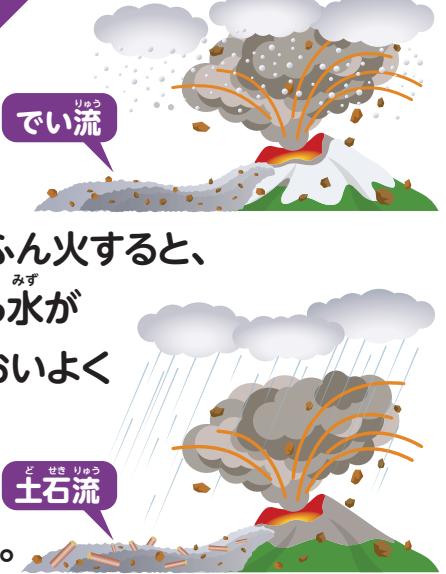
ふん火すると、火山ばいあつい! がまじった高温のガスが 火口から流れ下ることがあります。時速100キロメートルの速さになることもあります。



みやけ島(2000年)

## ● でい流・土石流

ふん火して、火山ばいがつもった山に雨がふったり、山に雪がつもっている時にふん火すると、火山ばいと水がまじったどろ水が大きな石や木とともにいきおいよく流れてくることがあります。ふん火の時には、川には近づかないようにしましょう。



## ● よう岩流

ふん火すると、火口からマグマがドロドロと流れ出すことがあります。温度はおよそ1,000度で、あつくて近づくこともできません。



中野俊氏撮影



みやけ島(1983年)

ここに書かれていることの他にも、ガスがふき出たり、山がくずれたりすることがあります。



うん 雲せんふげん岳(1995年)



みやけ島(2000年)